

川内高生、水難児を救助

薩摩川内市の川内川で、ボート競技練習中の高校生2人の機転と迅速な対応で、溺れかけた小学2年男児が救助された。異変に気付いた周囲の連携もあって大事に至らず、関係者は高校生らの冷静な行動をたたえている。



川内川で小学生を助けた川内高校漕艇部の東別府雄君、松田智博君、坂田繁政教諭（右から）

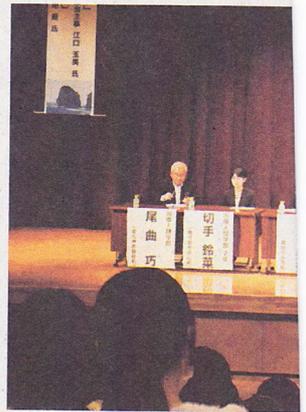
薩摩川内市西開聞町

練習中の漕艇部員ら

川内北中生も駆けつけ

異変があったのは5月8日午後5時ごろ。川内高校漕艇部3年の松田智博君と東別府雄君が右岸側を2人乗りボートで下流へこいでいると、天大橋近くの左岸から男児の声が聞こえた。「何か様子が変わった」と急いで逆の左岸の方へ。近づくと男児が腰のあたりまで水につかり、男性が岸辺に寝そべって必死に手を握っていた。男性は男児の祖父で、引き揚げることで、男児は「助けてください」と声を張り上げ、陸上の練習をしていた川内北中3年の大西智裕さんも男児の声に気付き、全速力で約200mの橋を渡って現場へ。ちよつど引き揚げられたところで、震える男児を抱きかかした。「救命講習会を受けたことがあったので、自分にも何かできるかもと思った」と無事を喜んだ。男児にけがもなく、この日は消防などへの通報もなかったが、6月初めに市民から情報提供を受けた市消防局は12日、大西さんに一般消防協力者の表彰状を贈呈した。近く川内高校の3人にも贈られる。

（赤間早也香）



甌島の魅力発信についでジウム参加者

薩摩川内市

「の道を見たり、小話に挑戦したりした。高千穂小児童が「魚屋さんがびっくりしたよ。ぎよ」「じゃがいもが落ちた。ぽてつと」などとオチを言うのと、会場はどつと沸いた。



4年の岩城泰希君は「緊張したけど、笑ってもらってやる気が出た。プロはゆつくり話して、左右をしつかり見ている。また挑戦したい」と語った。

（永井貴士）



薩摩川内市消防局から表彰された大西智裕さん
＝同市の川内北中学校

日、地区内の95歳以上の男性宅を訪問し、「父の日」のプレゼントを贈った写真。2人にそれぞれ近況を尋ね、健康状態を確認した。協議会の役員らが「これからもお元気で」



ゴーホーム!

○…さ
広域公園の事務所で働(55)は明る回る元気者の機械オン替えたはいで拡大できることもしることもしる
○…夫が
台所付近で



二弓道の四半的弓道に